

Case 1) 80歳代 男性

標的病変: 右SFA CTO病変

診断名: 閉塞性動脈硬化症

冠危険因子: 高血圧症

現病歴: 右下肢間欠性跛行があり紹介となった。右ABI低値であり下肢動脈超音波検査と下肢動脈造影で右SFA閉塞を認めたためカテーテル治療の方針となった。

ABI rt0.57 , lt1.07

Cre 1.07 mg/dl、 eGFR= 50.9 mL/min/m²



AP



RAO

**Case 1) 標的病變:
右SFA**